

南無ちゃんのブログ 2017年7月

目次

7月1日(土) 仕上げ間引き開始.....	2
7月2日(日) 夏本番！牛窓でヨット.....	2
7月3日(月) イチジクの敵を捕獲.....	3
7月4日(火) 台風3号の影響で大雨.....	4
7月5日(水) アルドゥイーノとラズパイでIoT.....	4
7月6日(木) 防除⑧と袋掛け.....	6
7月7日(金) シャインマスカットの仕上げ間引き.....	7
7月8日(土) ピオーネの袋掛けとシャインマスカットの摘粒.....	7
7月9日(日) 共同作業・お宮の総会.....	8
7月10日(月) 防除⑧と袋掛け(その2).....	8
7月11日(火) JARL から感謝状.....	9
7月12日(水) ダイレクトメールの作成とブドウ園での残作業.....	10
7月13日(木) 岸本(日野川)で鮎釣り.....	10
7月14日(金) 西城川で鮎釣り.....	11
7月15日(土) CQ 出版 70 周年記念アワード特別賞 DXCC250.....	12
7月16日(日) 地域のイベントでそうめん流し.....	13
7月17日(月) 草刈.....	13
7月18日(火) DM の作成と発送.....	14
7月19日(水) 旭川(福渡)で鮎釣り.....	15
7月20日(木) 果粒軟化期の兆し.....	15
7月21日(金) 西城川で鮎釣り.....	16
7月22日(土) 新梢の切り返し(枝の整理).....	17
7月23日(日) シャインマスカットの新梢の整理.....	17
7月24日(月) 鮎竿の修理と防除⑨.....	18
7月25日(火) 鮎竿修理 Before & After.....	19
7月26日(水) 高津川の様子.....	20
7月27日(木) LED 作業灯による防蛾灯の成果.....	20
7月28日(金) モモの収穫.....	21
7月29日(土) 高津川遠征初日.....	22
7月30日(日) 高津川遠征二日目.....	22
7月31日(月) 高津川遠征三日目.....	23

7月1日(土) 仕上げ間引き開始

2日間もブドウの世話を休んだので、今朝は早起きして、7時前にはブドウ園に出かけました。今日から仕上げ間引き(摘粒)を開始しました。

予備摘粒の際に、かなりきつく間引いていたので、ホンの少し手を加える程度の作業です。そのため、今日一日の作業で、4列分(全体で18列なので、4/18)の作業を完了しました。この調子だと、5日もあれば完了できそうです。写真の赤い鋏はピンセットをの機能も持つ「ブドウ鋏」、青いのは小指に装着した刷毛です。この刷毛を使って、花カスを取ります。

仕上げ間引きをしていると、ブッポーソウの巣箱の近くで、特有の泣き声が何度も聞こえました。近頃は、鳴くこともなく、なりを潜めていたので、何かのイベントがあるのだろうと考えを巡らせると、「そうだ！そろそろ巣立ちの頃ではないか？」と思い、手を止めて巣箱の方をじっと見ていると、確かに、大きな親鳥に混じって、小さな雛の影が見えました。今日が我が菌ちかくに済むブッポーソウ一家の巣立ちの日でした。

夕方家に帰って休んでいると、アンテナ(40mHighの7MHz用2エレ八木)にブッポーソウ一家(6羽)が止まっているのを見つけました。アンテナには止まって欲しくないのですが、巣立ちの日に免じて許してあげるよ！



7月2日(日) 夏本番！牛窓でヨット

梅雨前線が北上して、暑い夏がやってきました。久々に牛窓に行って、セーリングしました。午前中は、10knt程度の西の風があって、セーリングできました。その内に、風が弱くなり、11時半頃には風が止まってしまいました。

丁度昼前ということもあって、船の上でランチにしました。メニューは定番の素麺と冷奴とオニギリです。

食事が終わったころから、急に風が出てきました。急いで、食事の後片付けをしてセーリングモードにスイッチです。午後から天気が急変するとの天気予報だったので、約20kntの風の中をヨットハーバーに変えることにしました。

午後3時前には後片付けを終えて、解散しました。帰り道に、スイカの直売所に立ち寄ってお土産にスイカを買いました。これも夏の風物詩です。

牛窓から家までの距離は約70km、1時間半程の道程です。まだまだお日様が高温帯だったので、暑いなのんの！クーラーを全開にしてもまだ暑くて、2号線バイパス大樋橋のあたりで、渋

滞にかかった時には、頭がクラクラし始めて、熱中症かと思ったくらいです。夏の昼間に車で外出するのは考えものです。家に帰りついた頃には、雨が降り始めて涼しくなりました。



7月3日(月) イチジクの敵を捕獲

5時頃に、ブドウ園で粒間引きの作業を完了してから、裏庭に除草剤を散布して、残りをイチジクの株元に撒いているときに、イチジクの敵＝カミキリ虫を発見し捕獲しました。良く見ると、新梢を2本もガジガジ齧って、枯死させていました。こんちくしょうめ！です。捕らえて良く良くみると、凄みのある怖い顔です。

こんなに大きな成虫に効くような薬は、多分無いのでしょうか。駆除するには、1匹ずつ捕らえて、踏み潰すなどして処分するのが手堅いのかもかもしれません。

もう一本のイチジクの樹を見てみると、もう少しサイズの小さなカミキリムシが1匹いたので、捕獲しました。



一昨日に続いて、ブドウ園でピオーネの粒間引き作業をしました。今日は5列分作業できたので、残すところ5列になりました。

後一日で、この作業を終えることが出来そうですが、明日は台風の影響を受けて、雨になりそうです。

7月4日(火) 台風3号の影響で大雨

今日は台風が接近するため、農作業はできないかと思っていましたが、目覚めた頃には雨が未だ降っていませんでしたので、朝食後、直ぐにブドウ園に行って粒間引きの作業を開始しました。10時頃までに、2回の休憩を挟んで、3列分の作業ができました。雨が降り始めたので、野良仕事は止めにして、昼食を楽しむために総社市方面に出かけました。

午後1時前に、総社市街から日羽駅の傍を通過して帰宅したのですが、裏豪溪あたりの川は増水して濁流になっていました。オマケに道は川のようになって、雨水が流れていました。かなり降ったんだなあと思いながら、帰宅してTVを見ると、吉備中央町に大雨洪水警報が出されていました。

ニュースでは58mmの雨量だと報じられていましたが、アメダスで見ると、13時に37.5mm、14時に21.5mmの雨量が記録されていました。吉備中央町のアメダス観測点は、我が家から南南東に約2.5kmの場所です。12時の降り始めから17時までの累計雨量は73.5mmですので、短時間に相当の雨が降ったようです。

雨が降り止んだ頃に、赤磐市方面に出かけました。行く時は、川の水は澄んでいて平水だったのですが、帰り道に18時頃、宇甘溪の赤橋の上から見ると、増水して濁流になっていました。

今のところ、我が家の廻りで、崖崩れなどの被害はないようです。



7月5日(水) アルドゥイーノとラズパイでIoT

知っている方にはご紹介するまでもありませんが、とある私の知人にアルドゥイーノとラズパイを紹介するために、文章を書いてみました。

アルドゥイーノとラズパイは、世界中で最も普及しているボード製品のひとつ(二つ?)だといえるでしょう。アルドゥイーノとラズパイは、どちらもボード製品ですが、守備範囲が全く異なるもの同士であり、互いに補完する役割を担っています。野球で言えばピッチャーとキャッチャー、サッカーに例えればGKとFWDみたいなものです。

貴方がもしも電子工作に興味がお持ちならば、これらについて知っておいて欲しいと思います。

アルドゥイーノは、いわゆるマイコンボードです。無償の統合開発環境が提供されていて、ボードとパソコン(Windows/MacOS/Linux)とUSBケーブルがあれば、直ぐに試してみることができます。

C言語ライクなプログラミング言語でベタにアプリケーションプログラムを書いて、OSなしで動作

させます。C 言語の知識があればスムーズに入ることができるでしょう。初心者でも、豊富な例題やサンプルプログラムがあるので、インターネット環境さえあれば、簡単に独習することができます。

次の URL などを参考にしてみてください。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/Arduino>

<http://n.mtng.org/ele/arduino/>

上記の他、「アルドゥイーノ」「Arduino」などのキーワードで検索すれば、色んなサイトがヒットするでしょう。

ボード自体は 500 円から 3000 円くらいで販売されています。ハードウェアに関しては設計図が公開されているので、色んな業者が製造・販売しているため、品質にバラツキがあるようです。

ラズパイは、超小型(名刺サイズ)のコンピュータボードです。小さいながらも、パソコンに負けない立派なコンピュータとして動作します。Linux などの OS がサポートされており、LAN や WiFi でネットワークに接続することもできますし、HDMI でディスプレイに接続することもできます。更に、USB でキーボードやマウスをはじめ、前述のアルドゥイーノに接続することもできます。

次の URL などを参考にしてみてください。

https://ja.wikipedia.org/wiki/Raspberry_Pi

上記の他、「ラズベリーパイ」「Raspberry Pi」などのキーワードで検索すれば、色んなサイトがヒットするでしょう。

ボードは、3000 円～5000 円で販売されています。ハードウェアのベンダーは限られていますが、品質は安定しているようです。

ラズパイを試してみるには、ボードの他に次のものがが必要です。

- 1) マイクロ SD カード(16～32GB)
- 2) 5V 電源 (AC アダプター) ミニ USB ケーブルで接続できて、容量 2.5A 程度のもの
- 3) HDMI ケーブルと HDMI ディスプレー (TV で代用可能)
- 4) LAN ケーブルと WiFi ルータまたはスイッチング HUB
- 5) USB キーボードと USB マウス

ラズパイには、通常 Linux をインストールして使用します。Windows10 などもサポートされているようですが、比較的最近のことなので、ユーザ数が少なく、参考になるサイトや記事が少ないと思います。Linux の中でも Raspbian (Debian) がお勧めです。

OS が Linux ということは、コンピュータに対する指示は、Linux のコマンドによるということなので、Linux のコマンドに関する知識が多少なりとも必要です。

通常の場合、C 言語などによるプログラミングは不要です。必要に応じてパッケージをインストールしたり、設定したりするだけ十分に事足りるのです。世界中の Linux を使っているハッカーやプログラマーがパッケージを色々なパッケージを開発してくれており、更にラズパイを愛する人たちがこれらのパッケージをラズパイに移植してくれているのです。サポートされるデバイスも日々増えています。

データベースでもグラフィックスでもネットワークでも音声認識でも何でもかんでも出来ちゃうんです。しかも、小型で低消費電力、オマケに低価格。でもサポートは自己責任なので悪しからず。

勿論、実力さえあれば、アプリケーションをプログラミングすることが可能です。開発環境は大抵の場合無料です。C 言語でも Python でも Ruby でも Java でも Fortran でも何でも OK です。

ラズパイには、ON/OFF 信号を扱うための GPIO という入出力ピンが 20 本以上あり、電気製品の

スイッチをON/OFFしたりすることができます。音声信号を出力をする機能はありますが、0～5Vなどのアナログ信号を入出力する機能はありません。

そこで、登場するのがアルドゥイーノです。ラズパイのUSB端子にアルドゥイーノを接続すれば良いのです。アルドゥイーノのUSBシリアルポートを経由して、ラズパイからのコマンドを解釈実行するような、アプリを自分で制作します。この手法で、任意の(自在な)センサーデバイス(入力機器)を実現することができるのです。

近頃はIoT (Internet of Things)という言葉があります。わかりやすく言えばドラえもん「何処でもドア」のように、「何でもインターネットにつなげよう」という意味です。アルドゥイーノとラズパイのコンビで、簡単にIoTを実現することができるのです。

アルドゥイーノもラズパイも初めてという方で、このようなセンサーデバイスを作りたいと思う方は、まずアルドゥイーノから始めればよいでしょう。

Arduino Uno R3 Rev3 (ATmega328P) (5)



未明から降り始めた雨は、午前中ずっと降り続けました。今朝は、胃がん、大腸がん、前立腺および特定検診の集団検診の日でしたので、7時前から公民館に行きました。検診は9時頃には終了したのですが、雨が降っていたので、家の中で過ごしました。午後には雨が上がったので、ブドウ園に行って、粒間引き作業をしました。今日の作業で、ピオーネの粒間引きが完了しました。

7月6日(木) 防除⑧と袋掛け

今日は梅雨の晴れ間となる天気予報だったので、チャンスとばかりにブドウの防除をしました。アフェットF 2000倍、ランマンF 2000倍、ディアナWDG 10000倍の薬液を500リットル調整しました。今日は全部散布せず、広田という768mmの棚だけに散布しました。

10時過ぎから防除⑧が終了した広田の一角から袋掛けを開始しました。防除⑧と袋掛けはペアで行う必要があるらしいのです。袋掛けをしてしまえば、収穫するまでブドウの房の素顔を見ることができなくなります。これが見納めだと思って写真を撮っておきました。



7月7日(金) シャインマスカットの仕上げ間引き

WNのピンポイント予報によれば、今日は一日中雨が降るといので、何をして過ごそうかと考えていました。しかし、7時頃には雨が上がり、8時になっても降りだす心配がなかったので、ブドウ園に行って野良仕事を始めました。梅雨時期の天気予報は外れることが多いようです。スパコンで計算しても、余程予報することが難しいのでしょうか？

昨日防除したピオーネの袋掛けは、半分残っています。しかし、昨夕から雨が降り続いたので、もう一度防除してからやり直しです。なので、今日はやり残しているシャインマスカットの仕上げ間引き(摘粒)をしました。

雨が降り始めたら止めようと思っていましたが、全然降りませんでした。おかげで、5時までに2.5列分の摘粒を終えることができました。残り1.5列です。



7月8日(土) ピオーネの袋掛けとシャインマスカットの摘粒

一昨日に防除をした後に、昨日未明に雨が降ったので、袋掛けをする前にもう一度防除する必要があるかと思って検討しましたが、過剰に農薬を投与するのは良くないし、手間が掛かるので止めました。そこで、今朝は、一昨日袋掛けができなかった棚の半分(384平方メートル=4列)の袋掛けをしました。心配していた雨に降られることなく、11時頃には終わったので、ほっとしました。

その後、シャインマスカットの摘粒をやり始めましたが、3時前から雨が降りだしたので作業を中止しました。もう少し(1/2列)残っています。



7月9日(日) 共同作業・お宮の総会

朝7時半頃から共同作業ということで、道路際の草刈作業をしました。10時頃に止めて、家に帰って一休みしていた頃には、土砂降りの雨になりました。

午後1時から、お宮の周辺の掃除・草刈および総会が予定されていましたが、大雨のため作業は延期になり、総会のみになりました。

総会が終わって帰宅した頃には雨が上がっていたので、ブドウ園に行ってシャインマスカットの摘粒作業をしました。今日の作業で、全ての摘粒作業を完了しました。残りの主要な作業としては、袋掛けを残すのみです。



右側の写真は、行灯仕立てにして育てているブドウ(安芸クイーンとデラウェア)です樹が小さい割には、安芸クイーンに大きな房が着いています。赤く色付くまで無事育てられるでしょうか？夏場に水を切らないように、気をつけて灌水したいと思います。

7月10日(月) 防除⑧と袋掛け(その2)

今朝は5時頃起きて、6時過ぎから坂下という約6aのブドウ棚で防除作業を行いました。薬液は

先日調整済みですので、散布するのみでした。それでも1時間位かかり、終わった頃には汗だくになりました。この季節になると、防除作業は苦痛です。

防除作業を終えて、暫く休憩した後、袋掛けをしました。午後6時半頃まで作業して、あと100位というところで、作業を明日に持ち越しました。



7月11日(火) JARL から感謝状

JARL から感謝状が届きました。賛助会員として余分に JARL に会費を納めたことに感謝するという主旨です。昨年も賛助会費を納めましたが、感謝状を頂くのは初めてです。オマケに JARL 特製の卓上カレンダーが同封されていました。こんなことまでして頂かなくても・・・と却って恐縮しています。

賛助会費という名目ですが、私は寄付金的一种だと思っています。何故 JARL に寄付をするのか？ですが、私は DX を楽しんでいるので、DXCC のメンバーでもあります。このために、毎年何らかの形で、会員でもないのにアメリカの連盟である ARRL に年間 100 ドル以上のお金を払っています。しかし、日本の JARL には年間 3500 円を支払っているに過ぎません。なんか申し訳ないような気がして、賛助会員の申込をしたのでした。今のところ、賛助会員としてリストアップされている個人は 80 名弱なので、それなりのプレゼンスもありそうです。

ブーベの DX ペディションに 100 ドル寄付する方も沢山いらっしゃるようですので、寄付の仕方や楽しみ方は、人それぞれだと思います。



今朝はシャインマスカットの棚に防除⑧をして、その後で、袋掛けをしました。これでやっと全部の袋掛けを完了しました。5月の下旬から殆ど休みなしで農作業に専念していましたが、これようやく開放されそうです。

7月12日(水) ダイレクトメールの作成とブドウ園での残作業

早朝は雨が降る予報だったので、ブドウ園には行かず、家でパソコンパチパチやりました。昨年の販売リストを元に、DMの発送リストを作成しました。全部で77件程ありました。次に、DMの文面を昨年版を元に一部手直して、ブラッシュアップしました。

DMのリストは80件弱です。できれば予め作ったリストを基に、自動的にDMの封書に宛名を印刷して欲しいものです。昨年はOpenOfficeのWordとDbaseを使いました。郵便番号なしの洋封筒に、宛先を英語表記するような場合にはOKなのですが、長形3号などの縦長の封筒にはあまり適していないようです。そこで、Aprintというフリーソフトを使うことにしました。

10時頃には雨が上がりましたので、7月9日刈った道端の草や木などを片付けました。本当はその日に内に片付けるべきだったのですが、雨が降り始めたので途中で止めてしまったのでした。

午後からは、ブドウ園に行って、タヌキ・アナグマがブドウの樹に登らないように、ポリカーボネイト製の波板を幹に巻きつける作業をしました。その後、ブドウの樹に悪い虫が着いていないかどうかを入念にチェックしました。今のところ、大丈夫でした。



7月13日(木) 岸本(日野川)で鮎釣り

ブドウの袋掛けが完了したので、やっと遊ぶ時間ができました。山にこもりっきりで野良仕事に専念していたので、どの川が釣れているのかまったく情報がありません。年券もあることなので、とりあえず岸本に行きました。薄い笹濁りですが、鮎釣りには支障なさそうです。

オトリ屋さんには9時頃到着しましたが、どうも川の様子が変わります。釣り客が殆ど居ないので。

伯耆橋下流の右岸側に入りましたが、釣り客は私の他には1名だけです。9時半頃から1時間ちっとも当りがありませんでした。場所を変えて、上流のトロバに行ってやっと1尾掛かりました。専用区をあちこち駆けずりまわって、遅い昼飯までにやっと6尾でした。

釣果はともかく、今日は猛暑日の天気予報でしたが、川の中に浸かっていると暑さを感じませんでした。やっぱり、鮎釣りはいいわ！

1時間程休んで、3時頃から再出動して、4尾かけてやっと10尾になりました。

家に帰っても急ぐ野良仕事は無いので、釣れても釣れなくてももう一日釣ろうかと思って、もう少し詳しい情報を得るためにオトリ屋さんに行きました。

オトリ屋さんで暫く話をしていると、常連さんが何人か来られました。話を聞いていると、日野川ではなくて江の川の支流(ゆずは?)に行かれたようです。立派な鮎(20cmクラス)を20尾位釣られていました。話を聞いていると、広島県庄原市の西城川(比和川)が良いらしいのです。そこで、明日は比和川で釣ることにしました。

岸本温泉で汗を流してから、庄原までの88kmを2時間半かけて移動しました。



7月14日(金) 西城川で鮎釣り

西城川に行くのは初めてなので、どの辺りで釣れるのか教えていただくために、Oさんと庄原のフィッシング沼田で待ち合わせの約束です。私は昨晚11時頃には到着していたので、店が開くと直ぐに日券を購入していました。8時過ぎにOさんと無事会うことができました。無難な場所ということで、漁協の上流にある堰堤の辺りに車を止めて、漁協のあたりまで釣り下っていくことにしました。ココは全体的に岩盤瀬です。

最初の1尾目は川に入って10分程の時でした。「なんだ簡単に釣れるじゃん!」と思ったのですが、2尾目がなかなか掛からず、1時間程の時間が過ぎた後でした。漁協の近くの瀬に行くと連発でかかるようになり、結局朝の釣果は8尾でした。

簡単に昼飯を食べて、比和川に行ってみました。川を見ながら比和の市街地まで行きました。途中で釣り人らしい人影は見えませんでした。比和中学校前で釣り人1名をやっと発見できました。川の中を覗いてみましたが、鮎の姿は見えませんでした。仕方なく、庄原まで引き返して、庄原大橋の下流約200m右岸側に入りました。此处で2時から4時までの2時間で7尾の釣果でした。爆釣という程ではありませんが、そこそこ楽しむことができました。今日も猛暑日でしたが、川の中に浸かっていたら極楽極楽です。

帰りは中国道庄原ICから新見ICを経てR180経由で100km弱、およそ2時間かかりました。



左の写真は西城川漁協の前の瀬、右の写真は比和中学校前の川の様子

7月15日(土) CQ出版70周年記念アワード特別賞 DXCC250

昨夕、鮎釣りから帰ってみるとCQ出版から封筒が届いていました。早速開封してみたところ、CQ出版社70周年記念アワード特別賞DXCC250の賞状が入っていました。

申請したのは今年の1月、入賞したことが判ったのは5月、その賞状がやっと届きました。運賃はCQ出版社持ちで、紙の賞状をいただきました。私としては、pdfまたはpng/jpgなどの画像ファイルでも良かったのですが・・・やっと届いて一安心しました。というか、忘れていたので、嬉しいような、悲しいような、あまりの遅さに少し腹立たしくなっていました。



二日程遊びに出かけていたので、あれこれと忙しい日になりました。朝一番はブドウ園に見回りに行って、異常のないことを確認しました。イチジクの見回りをして、カミキリ虫1匹を見つけて捕殺しました。明日の夕涼み会の再にもーめん流しを予定しているので、そのための準備として、竹を切って公民館に運びました。再びブドウ園に行って、乗用草刈機が入れるように、下がっている何本かの蔓を棚に持ち上げる作業をして、次いでコガネムシ類のデバッグ(虫捕り)作業をしました。ブドウ園を猿から守るためのワイヤーメッシュ+電柵の足元に除草材を散布しました。昼寝をしてから、新アンテナファームの草刈をして、良い汗をかきました。

7月16日(日) 地域のイベントでそうめん流し

今日は地域のイベントがありました。「男の美味倶楽部」では、昼食時間に合わせてそうめん流しをしました。

約8kgのそうめんを茹でて、水洗いして、流しました。大きな釜に大きなザルを入れて、その中で茹でて、ザルごと取り出してボールに移して、水洗いし、バットに一握りずつ並べて、それを竹製の樋に流しました。

大変好評で、是非来年もやって欲しいという声が多数ありました。



7月17日(月) 草刈



ブドウの袋掛けが終わって、何をしようか？って感じなのですが、やることは沢山あるのです。そ

の一つは夏場の e エンドレスなテーマ「草刈」です。ブドウ棚の下は、未だ少し草丈が短いような気がしますが、来週は夏季剪定や防除などの作業が控えているので、作業環境を整備しておかねばなりません。ブドウ園、ブドウ園隣地、太陽光発電所、アンテナタワーの下などを全部一度に刈ってしまいました。

次回の草刈は約 3 週間後＝8 月 7 日頃なので、それまでスタンバイです。F1 MASAO を高圧洗浄機で水洗いして車庫に格納しました。

7 月 18 日(火) DM の作成と発送

ブドウを作るのは良いのですが、如何に販売するのかというのが最も重要です。ブドウの販売方法として次のような方法があります。いずれも一長一短です。

- 1) 農協--->市場
- 2) 道の駅・青空市場
- 3) 産直市場
- 4) ネット販売・直接販売

1)の方法は無限の吸い込みがあるので、一度の沢山出荷しても売れ残る心配はありません、価格は市場のせりによって決まる上、手数料や消費税などが引かれるために、手元に残る代金は僅かです。

2)の方法は自分で価格を決定できますが、近くの店だと限られた集客力と限られた出品スペースのために、売れ残るリスクがあります。

3)の方法だと、集客力があるので滅多に売れ残ることはないのですが、遠いので出品するために車で 30 分以上かけて運搬することになり、その手間がかかります、

4)の方法だと、手数料や消費税は掛かりませんが、代わりに運賃がかかります。

私が目指している販売方法は 4)です。そのためには営業努力が必要であり、DM(ダイレクトメール)は重要な手段の一つです。今日は、DM を作成し、80 通弱の DM を発送しました。昨年は注文用のは葉書を同封していましたが、今年は注文書を送っていただくための切手を貼った封筒を同封しました。

DM を作成するための使用したアプリは次の通りです。

- 1) オープンオフィス

Writer で DM の文面を作成・印刷

Calc で昨年の販売実績から顧客一覧表を作成

- 2) Aprint

宛名書き

DM の宛名書きのために先の Calc で作成した表を元に Aprint で読み出し可能な csv に変換し、CSV ファイルでセーブした。

7月19日(水) 旭川(福渡)で鮎釣り

今朝1時間程草刈をした後、旭川(福渡)に出かけました。今朝、岡田さんに電話で確認したところ、「そこそこ掛かり始めている。昨年より状況は良い」とのことだったので、福渡に行くことにしました。

10時半頃到着すると、地元の鮎釣りファンの方々が木の下で井戸端会議をされているので、ご挨拶して暫くお話をお聞きしていました。24cmクラスの鮎が釣れるらしいので、ちょっと仕掛けに不安がありますが、そんなのばかりではないでしょうから、先週西城川で使った仕掛け(水中糸0.05号複合+つまみ糸0.4号+中ハリス0.8号+ヒネリツイスト7.5号)でやりました。

最初の一尾は、竿を出してオトリを流れに移動させたところで直ぐに掛かりました。「あれま！こんなに簡単に掛かっていいの？」って感じでした。サイズは18cm位。水位は低めだったので、簡単に川を切ることができて、根掛りしても取りに行けました。二尾目が掛かったのは約30分後で、瀬を一流してお昼にしました。お昼を抜くほど釣れる訳でもないし、止めて帰るほどでもないので、ゆっくり昼休みしました。

オトリは舟にいれて、石の上に置いて沈めていたのですが、午後から始めようとする、オトリに元気がありません。水温が余程高かったのか、バテテしまったようです。錘を付けて、流しているとやっと一尾かかって、オトリ交換して引いていたところ、バン！と大きな当たりがあって、錘の下で切られてしまいました。これが噂の24cmなののでしょうか？

弱ったオトリを引いても反応はなく、ジエンドになってしまいました。

今度行く時には、仕掛けを強化することと、昼休みの時にはオトリをなるべく深いところに浸けておくように気をつけたいものです。今はもう土用の季節。川の水温が上がり、オトリに気を使わねばなりません。面倒ですねえ！九頭竜川のように水温の低い川なら全然平気なのですが、九頭竜川の調子は昨年よりも悪いとのことなので、ブドウの夏季剪定を終えて、防除済ませて、来週の後半あたりから遠征に出かけたいと思います。



7月20日(木) 果粒軟化期の兆し

午前中は野暮用があって岡山市内に出かけました。午後2時過ぎに帰宅して、少し横になって、4時頃からブドウ園に出かけました。

暑い日が続くので1時間程灌水しました。その間に、ブドウの袋を開けて、粒が柔らかくなり始めているかどうか確認しました。4房の内の2房は若干柔らかくなり始めているような感じです。そろ

そろ、新梢を切り戻しても良い時期のようです。

近所のブドウ園では、色付きを良くするためにビニールを最近取外したところもあります。私は他の園地よりも100m位は高地なので、取外す予定はありません。昨年もビニールを取外さなくても十分色付きました。しかし、ビニールトンネル内の高温化を防ぐために、昨年はビニールの所々に穴を明けました。今年は、妻側(ビニールトンネルの端)のビニールを除去して、空気が流れやすいように対策しようと思っています。試しに、一箇所だけやってみたところ簡単にできたので、灌水中に8箇所のビニールを除去しました。



7月21日(金) 西城川で鮎釣り

土日は人が多いかもしれないので、どうせなら平日の内に行っておこうという訳で、庄原の西城川に行きました。車を先週と同じ場所に止めて、堰堤の直下から釣りをはじめました。釣り人は私の他に1人だけでした。堰堤から100m位下がったところで、竿がボキッと音がしたので、少し早めにお昼にしました。元竿を自分で修理したところが外れたみたいです。この時点で、9尾の釣果でした。竿が折れても心は折れず、ポツポツ釣れるし、水温が低くて川が綺麗なので気持ちよく機嫌よく釣りができます。



簡単に昼食を取った後、竿を替えて漁協の上のあたりから竿を出してみました。あたりはなく、そのまま橋の下流のトロ場の終わりのあたりまで歩いていくと、川に入ったばかりの釣り人が二人見えました。あまり近づいてもいけないので、ゆっくりと釣り下りました。二三匹掛かるには掛かりましたが、あまり芳しくありません。その内に二人組みが川から上がったので、彼らが釣っていた更に下流まで歩いて行くと、時刻は3時頃になって他に釣り人は居ない状態になりました。水面下では、

鮎がきらきらとヒラを打っているのが見えました。そこにオトリを近づけると、キラッと光った後でドンとあたりがありました。水が綺麗なので、掛かったのが目で見てわかるのです。

3時がゴールデンタイムの始まりだったようで、入れ掛りになりました。居合わせた場所と時間が良かったのでしょう。4時半頃までハイペースで掛かりましたが、あまり掛からなくなったので、5時には川から上がりました。

帰宅して流し台で数を数えてみると、今日の釣果は25尾でした。今年の釣りの中では始めて満足できる釣果でした。

7月22日(土) 新梢の切り返し(枝の整理)

今日も暑い日でした。果粒軟化期の兆しが見えてきたので、今日は先ずピオーネの新梢を切り返しました。2つあるピオーネの棚の枝を両方とも切り返して綺麗にしました。

写真左は Before で右が After です。写真を見て判るように、Before では、徒長した枝がアチコチに出っていますが、それらを切除した After では、すっきりしたと報告もあるようです。



7月23日(日) シャインマスカットの新梢の整理



今朝も早朝からブドウ園に行って、残っていたシャインマスカットの新梢の整理をしました。昨日と違って今日は一日中曇っていたので、農作業日和でした。それでも気温は30℃前後なので、直

ぐに汗だくになりました。

昨日から、切った枝が散らかっているので、それを片付けなければなりません。何処かにまとめて焼却するのが妥当なのですが、ブドウ園内に植えている桃の株元に敷き藁代わりにブドウの枝を敷きました。モモはもうじき収穫なので、暫くの辛抱です。

7月24日(月) 鮎竿の修理と防除⑨

先日、西城川で「ボキッ!」と音がした鮎竿を修理しました。何年か前に、カーボンFRPを巻いて修理したところが割れていたのです。割れたのは巻いたカーボンFRPではなくて、元々折れた竿の方だったので、巻いたカーボンFRPが強いことが証明されたようなもので、悲しい出来事でしたが、反面心強く思いました。

この竿はDAIWA Air Master A 90SCです。既に廃盤なので、元竿を注文できるかどうかも怪しいですし、仮に在庫があったとしても6~7万円するでしょうから、注文する気にもなりません。丁度今時分の鮎釣り中盤に活躍する竿なので、早く使いたいため、再修理しました。

材料は、次の通りで、全部手持ちしていました。

- 1)カーボクロス(A4サイズを12cmにカット)
- 2)ポリエステル樹脂
- 3)同上用硬化剤

その他、精密やすり(三角)、紙コップ、割り箸、ダンボール紙、ビニールテープ、マスキングテープ、秤、スポイト、鋏などを用意しました。

まず、鮎竿の「ボキッ」と音がした部分を、精密やすりで1cm程カットしました。鮎竿に前回修理したカーボンFRPで巻いた部分を嵌めこみ、まっすぐになっていることを確認してから、瞬間接着剤で仮止めしました。

カーボンを巻く場所がわかるように鮎竿にマスキングテープを巻きました。更に、樹脂が竿に付着しないように新聞紙やマスキングテープで保護しました。

紙コップにポリエステル樹脂を50g入れて、硬化剤を0.7cc位加えて、割り箸でかきまぜました。ダンボール紙の上に載せたカーボクロスに、硬化剤を加えたポリエステル樹脂を、ダンボール紙のヘラで薄く満遍なく塗って浸み込ませました。

樹脂を浸み込ませたカーボンを竿の補強する部分に巻きました。凡そ3回重ね巻きすることになります。その上をビニールテープで、締め付けるように強く巻きました。

1時間もすれば硬化しますが、約5時間後にビニールテープを外してみたところ、奇麗に硬化していました。

ビニールテープで締め付けた痕が残っているので、サンドペーパーなどで磨いてから、ウレタン樹脂などを塗布すれば完成ですが、明日、このまま使ってみようと思います。

今朝は5時過ぎに起床して、6時過ぎからブドウ園で防除作業をしました。予め、薬液500リットルをタンクに作っていたので、今日は散布するだけです。今回は防除⑨で、薬液は次の構成です。

- ・オラクル顆粒水和剤 5000倍
- ・マネージDF 4000倍
- ・アビオンE(展着剤)1000倍

暑いので、休みながら作業したためか、10時頃まで掛かりました。大汗をかいたので、シャワーを浴びて、一休みしました。

午後から、前述の鮎竿を修理をしました。今日は一日中曇りで、蒸し暑い日でした。



7月25日(火) 鮎竿修理 Before & After

昨日修理した鮎竿で実釣して調子を見るために、今日は久世・勝山方面に出かけました。家を8時半頃出発して、久世には9時半頃到着しました。川に入ろうとしたら、道路工事中でいつもの道路を通ることができなかつたので、そのまま勝山に行ってみました。文化センターに車を止めて、橋の上から川を覗き込みました、魚影は見えませんでした。釣り人は1人だけでした。新庄川の方も覗いてみました。今朝はやくか昨夕か夕立があったみたいで、川が濁っていました。

久世のオトリやさんに行き、良い場所はないかと相談したところ、目木川が良いらしいので、行って見ました。目木川で鮎釣りするのは始めてです。既に先行者が上にも下にも1名ずつ居て、真ん中で竿をだすしかありません。暫くして当たりがありました、12cmクラスの今時には小ぶりの鮎で、オトリにするのが可愛そうなほどのチビ鮎でした。チビ鮎をキープして、養殖君を泳がせていましたが、バテてきたみたいです。仕方がないので、もう一つの養殖君を泳がせていると、掛かったような鈍い感じがして持ち上げてみると掛かっていました。今日の目木川の鮎は、こんな感じで鈍い当たりのが多かったように思います。サイズはどれも15cm位でしたので、二次放流されたものではないかと思えます。



何はともあれ、暑い日に冷たい水に浸かることができ最高です。昨日修理した鮎竿もバッチリです。写真左側は修理 Before、右側は修理 After です。Before の時、元栓側のカーボン巻いた箇所が赤い本体の元竿から外れてしまい、元々元竿の部分が割れて「バリッ」という音がしたようです。

7月26日(水) 高津川の様子

今日は妻の実家に来ています。元々は浜田道を通ってくるつもりでしたが、事故で渋滞しているとの情報を目にしたので、六日市で降りて、高津川沿いに走りました。柿の木のあたりは水害前と同じ程の釣り人で賑わっていました。左鐙ではあまり釣り人を見かけませんでしたが、日原の町中では10人以上の釣り人を見かけました。水害から今年で4年目です。そろそろ、復旧工事が終わり、鮎が戻ってきたようです。

確信が得たかったので、道の駅日原に立ち寄りました。宮島オトリの主人に話を聞こうと思ったのですが、「準備中」の看板が出ていて留守でした。写真を撮っていると、「清流 高津川」とプリントされたTシャツを着た人が駐車場の方に歩いて来たので、突撃インタビューを試みました。

聞けば、この方はここで25年間、網を打ちに来ている折〇さんという方で、昨年よりもずっと良くて、友釣りの方も皆釣れると言っているとのことでした。

今回は、妻の車で来たので釣り道具は一切持参していませんので、川に入ることはできませんが、明日帰宅したら、1日他の野暮用を片付けて、次の日から当地に向けて遠征しようと思います。この川でそこそこ鮎が釣れるなら、柿の木の奥の福川川から匹見温泉まで知っているの、10日間位は不自由せずに遊ぶことができます。

近々の遠征先は、高津川に決定です。



7月27日(木) LED 作業灯による防蛾灯の成果

ブドウ園内にモモの木を2本(白鳳とおかやま夢白桃を各1本)植えています。収穫するのは今年で3回目です。一昨年、昨年と連続して、夜蛾にやられて全滅でした。つまり、食べられるようなモモを収穫することができなかつたのです。

今年は、消費電力12W(DC12V 1A)の黄色のLED作業灯をネットで6個購入して、ブドウ園に設置しました。240Wソーラーパネルで発電し、チャージコントローラで120AHのバッテリーに充電して、チャージコントローラのタイマー機能を利用して、夜間だけ点灯するようにしました。

このLED作業灯の効果があって、夜蛾に刺されて駄目になったモモは殆どなくなりました。今年、2本にモモの木(に約200の袋を掛けて、90%以上がほぼ無傷の状態)で収穫できそうです。

何故、黄色のLEDが良いのかというのは、次のような理由からです。

1)LEDは、白熱灯や蛍光灯等に比べて消費電力が小さい。

2)夜蛾は「負の走光性」を持っていて、明るいところを避ける。

3)コガネムシ類など多くの昆虫は「正の走光性」を持っていて、明かりに寄って来る(いわゆる飛んで火に入る夏の虫)が、青色の光を好み、黄色に対して反応しない性質があるので、照明することの悪影響が少ない。

まともにモモが収穫できるのは今年が初めてなので、いつが収穫適期なのか良く判りません。仕方がないので、10日程前から2日置きに1個ずつ採って、熟し加減を味見してきました。白鳳の方は、そろそろ完熟の域に達したようです。香り良く、甘くて、ジューシーな果肉になりました。

今日、30個ばかり収穫して、近所におすそ分けしました。明日、白鳳は全部収穫して、知人・親戚・兄弟などにおすそ分けしたいと思います。



7月28日(金) モモの収穫



今朝は7時前からモモ(白鳳)の収穫作業をしました。袋を外してお尻を見るとか肩を見るとかしないで、木に着いているモモを残らずもぎ取りました。

今日、収穫したモモの数は90玉でした。その内、20玉は傷があったり、虫が齧っていたりして、見た目が悪くて商品価値がないものの、我が家で食べるには問題なさそうです。2玉は腐っていてNGでした。68玉は、私の甘い検査に合格しましたので、合格率75%です。

昨日、21玉近所にお裾分けしました、一昨日6玉を妻の実家にお土産として持参しました。全部で120玉以上実を着けていたのでしょね。

収穫したモモの実を、車庫に設けた臨時選果場で掃除・選果作業をして、ホームセンターで購入したモモ用のダンボール箱に詰めこみました。1箱に8玉入れて、4箱発送しました。残りは、ホームセンターで購入したPEの4玉入りパック容器に詰めて、妻のお友達にあげたり、私が明日から遠征する時のお土産にします。

モモが片付いたので、心置きなく遠征に出かけることができるというものです。

7月29日(土) 高津川遠征初日

朝5時に家を出発して、高津川の宮島オトリに9時前に到着しました。丁度店仕舞いする寸前で、ぎりぎりセーフでした。川の様子を少しだけ聞いて、持参した自転車で道の駅周辺の川を見て歩きました。

土曜日なのに釣り客はまばらです。ゲンゴロウに一人、曾庭橋の下に一人。えっこれだけ？魚影も薄いようです。とりあえず、魚影の見た富田洞門下に、自転車に乗って移動しました。途中、右岸側のがたがた道でかなり水が漏れたせいか、川に着いてオトリに鼻かん通そうとしたとき、既に瀕死の状態でした。ありやうや嗚呼！！錘をつけて無理やり引けばひょっとしてかかることもあるかもしれないと思って1時間程やりましたが全然だめです。

早めの昼飯を食べて、漁協でオトリを仕入れてから、匹見川に行ってみました。釣り人もポツポツと居ます。最初、澄川で竿を出しました。慎重に水合わせをして、オトリを水になじませてから慎重に送りだしたのですが、魚信はありませんでした。30分程でギブアップして、匹見温泉まで行きました。紙祖川との合流点に入ってみました。2時間程粘りましたが、ここでも魚信はありませんでした。

ということで、今日は坊主！オトリを放流して、匹見温泉で汗を流すことにしました。坊主というのも乙なものです。下手に釣れていると、釣った鮎に縛られてしまいます。売りに行こうか？明日のオトリをどう活かそうかなどと考えねばなりません。(負け惜しみです)

今日は土曜日なので、日原の道の駅で車中泊することにしました。道の駅に着くと、知り合いの中○さん兄弟や○君など合計8名で酒盛りしました。ああやっぱり鮎釣りは楽しいわ。

7月30日(日) 高津川遠征二日目

昨日、匹見温泉から帰る時に、豊川発電所の下流に車が3台、間隔を置いて止まっていました。時刻は夕方6時頃でしたので、余程良く釣れるんだろかと思ってしまいました。そこで、今日は、其処にポイントを定めて入川しました。

なかなか最初のあたりがありませんでしたが、目印がぶっ飛びました。「やったあ！これこれこれですよ！」と思って慎重に取り込むと、鮎ではなくてウグイでした。ありやうや嗚呼です。17cm位のウグイだったので、これをオトリにしてチャラ瀬を泳がせていると、またあたりがありました。釣りあげてみると、またもやウグイです。ウグイのオトリにウグイが掛かる・・・ウグイの友釣りです。

下流の流れの緩い場所に居た二人の釣り人は、車に乗って場所替えしました。下流が空いたので、チャラ瀬を釣り下がって、緩い場所まで着くと、以前は水深のあるトロ場だったのに、砂で埋もれていました。でも、鮎の跳ねているようなので、少し粘ってみました。よく見てみると、跳ね方が少し変です。鮎の跳ね方とは違うのです。ウグイか何か鮎とは違うものが跳ねているようです。

時刻は11時前でしたので、場所替えすることにしました。柿の木が釣れているという話なので、

柿の木の道の駅に車を止めました。道の駅のチャラ瀬と深場は空いていました。ほぼ同時に来られた広島ナンバーの方も川に入られるということだったので、鮎を川に浸けて、私は道の駅のレストランで昼食にしました。

食後、広島ナンバーの方を見ると、釣れているようなので、心強く思い、私は瀬尻からトロ場に付近で竿を出しました。暫くやりましたが、全然アタリがありませんでした。暫くすると、瀬の中盤からコロガシの釣り人が入川されてきました。どうも、瀬尻からトロ場にかけてはコロガシのポイントのようです。ひょっとして、朝からコロガシの釣り人にさんざん痛めつけられていたのかもしれないと思うとガックリきました。ポイント選びに失敗したようです。1にポイント、2にオトリと言います。オトリも弱ってきたので、止めることにしました。

明日の釣りに備えて、自転車で周辺をぐるっと回って、釣り人の配置をチェックしました。二日続けて坊主なのですが、三日連続坊主は避けたいものです。明日は釣れるかな？

7月31日(月) 高津川遠征三日目

柿の木の道の駅に車中泊して、朝6時に起床。サクサクっと朝食を済ませて、大谷屋さんに行く、オトリが居ないということで、健康村に行って天然二尾を仕入れました。高水温が続いているので、養殖よりも天然の方が良いみたいです。これは、昨日、養殖と天然を一尾ずつ仕入れて実験した結果から得た結論です。

郵便局の裏に行くと、私が一番乗りでした。水温が高いようなので、十分に水合わせをしたり、新しい仕掛けを張るなどしてゆっくり準備しました。8時前には竿を出して、ほんの数分で一尾目が掛かりました。久しぶりの感触です。20cm位の良い型の鮎です。これで三日続けて坊主はなんとか免れました。

柿の木の郵便局裏のポイントは東に山があるので、日が射すのは9時頃です。その分、涼しく釣りができます。結構いいテンポで鮎が掛かり、今日は貸し切りかと思っていたのですが、丁度日が射し始めた頃に、顔見知りの福山のSさんとFさんのコンビが来られました。このSFコンビ同じ釣りで顔を合わせるのは、物部川の解禁日、日野川のマスターズと今回で3度目です。今年はそれほど鮎釣りに行っているのではないのに、珍しいこともあるものです。

トロ場まで釣り下って、今度は直ぐ下流を泳がせて攻めてみました。此处でも良型が掛かりました。次は、橋の上で泳がせると、此处でも20cmクラスの良型が次々と掛かりました。昨日までの悪夢がまるで嘘のようです。鮎は居るところには居るのです。面白い程掛かるので、昼飯抜きです。しかし、1時半頃になると、一通りやり切ったので、場所替えしようと思って、曳舟に2尾だけオトリを仕込んで、残りは全部友缶に入れて別のポイントに着いた頃には雷雨が激しくなりました。とりあえず、曳舟だけは川に浸けて、暫く様子を見ていましたが、止む気配がないので、今日の所は楽しい思いだけを胸に抱いて、竿を納めることにしました。

一路、日原道の駅を目指しました。3時には道の駅に到着しました。明日のオトリ2尾を残して全部宮島さんに引き取って貰いました。2/3位は死んでいるか瀬死だったので、活鮎としては取って貰えず単価はダウンしましたが、合計で5,310の漁獲高でした。

未だ日が高かったなので、津和野温泉に行きました。温泉内のレストランで食事して、帰りに食料品等を仕入れて、日原の道の駅に着くと6時半頃でした。

津和野でも雨が降っていて、津和野川は濁っていました。明日、本流は増水するかもしれません。悪くすると濁るかもしれません。明日も釣れますように。